

令和6年度 第2回 北浜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月3日（水） 13:30 から 15:30
- 2 開催場所 北浜中学校 小会議室
- 3 出席委員 古川員巳、柴田義久、大村 仁、大岡成光  
波多信広、齋藤千朝、古谷一平
- 4 欠席委員 藤本正俊、原崎佳久
- 5 オブザーバー 齋藤秀雄（浜北南部協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 古谷一平
- 7 浜松市教育委員会 井島健蔵（教育総務課）
- 8 学 校 岡田芳樹（校長）、水谷裕士（教頭）、鈴木敬子（CSディレクター）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木敬子
- 11 議長の選出  
司会から議長の選出について意見を求めたところ、会長から柴田委員が推薦され、全員異議なくこれを承認した。
- 12 熟 議  
(1) 令和6年度の目標について  
(2) 職場体験への取組について
- 13 会 議 記 録  
熟議に先立ち、会長挨拶、校長挨拶及び第1回の議事録の確認を行った。  
(1) 令和6年度の目標について  
5年度末自己評価表で目標とした、部活動や各種行事等学校運営の手助けができるような具体的な支援について協議したい。（校長）  
・部活動はどうなっていくのか。（柴田委員）  
・市ではどのように進めているのか情報が欲しい。（波多委員）  
→7月くらいに市の方針が示されるようである。（校長）  
・具体的に（柴田委員）  
→学校運営に関わってくださる人、行事の中でお手伝いをしてくれる人を募りたい。（校長）  
・「さくら連絡網」を使ってみてはどうか。（大村委員）  
→テント張り等の学校ボランティアをお願いしたい。（校長）  
・簡易な物ではない防災テントは張るのが大変なのでできる人が少ないのではないか。（大村委員）  
・運動会など人数がいれば、なんとか張ることはできる。伎倍小では協力者が多い。（古谷）

- ・小学校によって地域の協力の仕方が違っている。(大村委員)
  - ・派手に募集しているのは伎倍小だが、北浜南小の地域ではまずは親が協力すべきという空気がある。(齋藤委員)
  - ・地域にやりたい人がいても、若い世代の親たちを上げていかないと後が続かなくなる。(大村委員)
  - ・その活動に「メリットがあるか？」と問われたことがある。昔は少数の人が参加しなくても活動に大きな支障がなかったのだが、活動できる人が少なくなっている現状では難しい。(大村委員)
  - ・子供会の組織率も低い。子供会に入っていない子の面倒をみるのはおかしいという役員の気持ちもわかる。(柴田委員)
  - ・子供会に参加する子供の減少も大きい。(大村委員)
  - ・子供会の活動もコロナ禍で大きく変わった。やらないことが普通になってしまった。(古谷委員)
  - ・コロナ禍で修復不可能に。中間層の人数が足りない。空白期間によって活動内容を知らない世代。自治会もPTAも人数が減っている。非加入者の扱いに苦慮している。(波多委員)
  - ・そもそも戸数が少なくなっている。(大村委員)
  - ・北浜小でボランティアの募集を始めたが、年配者はSNSを使った連絡が難しい。(齋藤委員)
  - ・オープンで募集するのは難しい。ネットワークで集めたい。(校長)
  - ・貴布祢地区は以前から地域活動ができている。(古川委員)
  - ・他の地区では活動に対してそこまで積極的ではない。(大村委員)
  - ・中学校として小学校区別の違いは感じない。(校長)
  - ・自治会やPTAが関わられるようにしたい。(波多委員)
  - ・テントを借りる等(波多委員)
  - ・地区の祭りの際には学校からも借りている。(柴田委員)
  - ・伎倍小ではPTAで持っているテントもある。(古谷委員)
  - ・学校にテントはどれくらいあるのか。(齋藤委員)
- 学校にも学年毎にはあるが、全員がテントに入るほどはないので昨年度も地域や他校にも借りている。(校長)
- ・北浜南小では70代の方たちの集まりが、もっと良くなるため孫たちのためと行動している。が、その次の世代がついてきていないことが課題である。(波多委員)
  - ・いざ災害が起きた時には、中学生や高校生の力が重要になる。そのためにはどうすれば(柴田委員)

## (2) 職場体験への取組について

- ・北浜中の卒業生で今年から CS コーディネーターとして、まず職場体験のことについて進めている。昨年度までは担当学年の先生が知っている企業や前から実績のある所に声かけをしていたそうだが、今年は学校と地元のメンバーで主に旧浜北地区の企業等をお願いをしている。浜北の商工会にも協力を仰いでいる。(古谷委員)
- ・今日までで208件 OK をもらっている。今までは2年生の担任が、放課後等の限られた時間に電話をして交渉していた。これからは学校全体としてかかわる。今のところ体験先から学校は外している。(校長)
- ・返事はいつまでにすればいいでしょうか。心当たりに声かけをしているところです。(波多委員)
- ・課題はあるがスタートしたい。協力的な事業所が多い。(古谷委員)
- ・子供たちにとって有意義な体験にしてほしい。(柴田委員)

## 1 4 その他

- ・教育総務課指導主事より  
大変熱心な話し合いがされ、フットワークの軽いよい地域だと感じた。
- ・報告 目指す子供の姿に向けて 生徒会選挙の様子より  
感想：候補者のビジョンがしっかりしていて感心した。
- ・今後の予定  
第3回 令和6年12月 6日(金) 13:30から15:00  
第4回 令和7年 2月13日(木) 13:30から15:00